

TOYAMA Free Wi-Fi の利用開始手続きに関する今後の方針について

本協議会においてはこれまで、利用者の利便性を第一と考え、以下の方針により運用しているところである。

- ① 利用規約の同意のみで利用可能とする ワンタップ方式の採用
- ② 無線区間の暗号化はしない
- ③ 利用者追跡の手がかりとして、利用時に MAC アドレス取得するとともに、有害サイトへのフィルタリング、接続時間の限定（1回3時間）、一定期間ログを保管するなどのセキュリティ対策により、一定のセキュリティ確保
- ④ セキュリティに関する注意喚起・意識啓発の取り組み

1 国ガイドラインの改正の概要

9月23日付けで、総務省が策定する「無線 LAN ビジネスガイドライン第2版」のが公表され、ショッピング街や屋外イベントなどにおける公衆無線 LAN アクセスポイントの設置については、メールアドレスなどの入力が必要な方式での運用を推奨するとされたもの。ただし、目視等で利用者の出入りを十分把握できる場合については、認証は必ずしも必要としないとされている。

今後の動向によっては、何らかの見直しが必要となることも想定されることから、現行方式のままとし、安全面で一定の配慮を行う

2 本協議会としての今後の方針（案）

ワンタップ方式が利用者からも好評であるため、認証方式は変更しない。ただし、目視等で利用者の出入りを十分把握することが困難な箇所での整備については、監視カメラの設置など※のセキュリティの確保策について、県警とも相談しながら個別に対応を検討する。

※ガイドラインにおいて、目視等で利用者の出入りを十分把握できる箇所として、認証を必ずしも必要としない公衆無線 LAN アクセスポイントの設置例として以下の箇所が例示されている。

- ① 空港等が提供するアクセスポイント
- ② ホテル客室等で提供されるアクセスポイント
- ③ レストランやカフェ等のテナポ内に設置されるアクセスポイント

なお、今後の動向を注視し、引き続き検討を続けるものとする。

訪日外国人に対する無料公衆無線 LAN サービスの利用開始手続の簡素化・一元化の取組みなど、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた Wi-Fi 整備の動き 等

(参考) 3 総務省補助事業「観光・防災 Wi-Fi ステーション」の補助要件見直しについて

平成28年度より、利用者の利便性及び不正利用防止の観点から、補助金の交付要件に認証に関する要件が追加されたもの。(今年度当初予算分については特例措置として、既存 Wi-Fi の増設については適用除外とされている。)

<補助対象となる認証方式

- ① SMS (ショートメッセージ)・電話番号を利用した認証方式
- ② SNS アカウントを利用した認証方式
- ③ 利用していることの確認を含めたメール認証方式

3.2 利用者の安心・安全な利用のための留意事項

3.2.2 利用者への周知・啓発

無線 LAN は、コンピュータウイルス感染等のインターネット利用における情報セキュリティ上の脅威一般に加え、有線と比較して傍受等が容易な無線を利用することに起因する脅威にもさらされている。これらの情報セキュリティ上の脅威について対策を怠ることは、安心・安全な情報通信利用環境を阻害し、利用者のみならず、公衆無線 LAN サービスを提供する事業者等にも不利益をもたらすこととなる。

したがって、公衆無線 LAN サービスを提供する事業者等は、自らが情報セキュリティ対策に関する取組を積極的に実施することに加え、利用者に対し無線 LAN 利用における情報セキュリティ上の脅威、情報セキュリティ対策の必要性及び具体的方法等に関する啓発を行うことにより意識を向上させるとともに、利用者が情報セキュリティ対策を取りやすい環境整備を行うなど、サービスを提供する事業者側における対策と利用者側における対策を車の両輪として推進していくことが重要である。

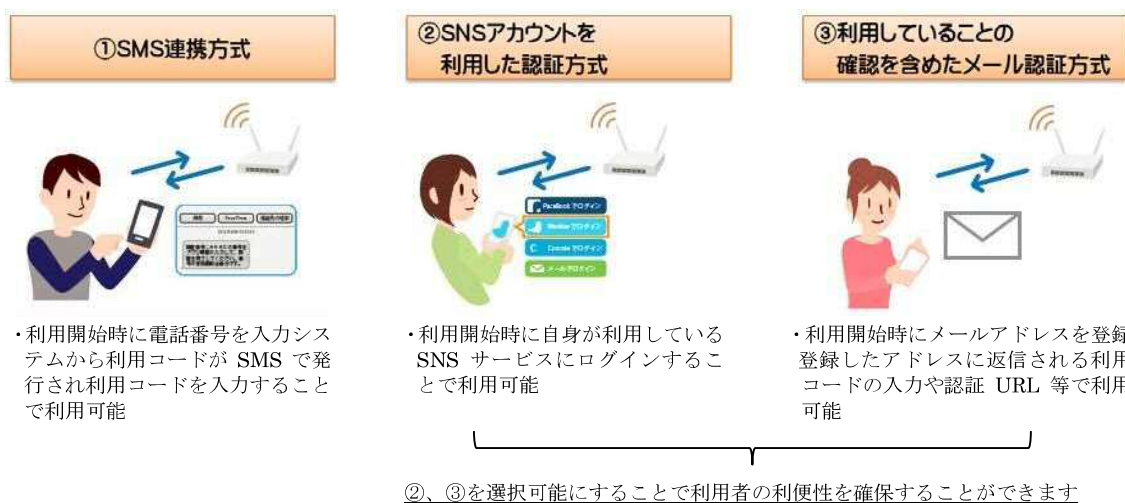
総務省では、一般利用者が安心して無線 LAN を利用するために、基本的な知識やメリット、使用時の注意点、具体的な設定方法を記載した「Wi-Fi 利用者向け 簡易マニュアル¹⁵⁾」を公表しているほか、利用者のリテラシーや重要度に応じた段階別の対策等を総合的に示した手引書「一般利用者が安心して無線 LAN を利用するために」¹⁶⁾を策定し、公表している(平成 24 年 11 月 2 日)。これらの手引書では、一般利用者が最低限取るべき情報セキュリティ対策について、平易な表現で取りまとめているため、利用者に対する周知啓発活動において参考にするなど、これらの手引書を

積極的に活用することが期待される。なお、利用者情報の適切な確認にあたっては、別添2の留意事項を参考としていただきたい。

利用者情報の確認にあたっての留意事項

総務省が公表している「Wi-Fi 提供者向け セキュリティ対策の手引き²⁹」も参照しつつ、不特定かつ多数の者の利用を目的として提供される無料公衆無線 LAN サービスについては、サービスの円滑な提供や不正利用防止のため、①～③のいずれかの認証方式により、利用者情報を確認しましょう。

なお、空港や駅構内等の屋内施設や塀等により区切られた敷地内で提供される場合や、目視や監視カメラ等により利用者の出入りを十分把握できるような場合は除きます。



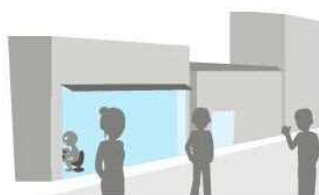
また、認証による利用者情報の確認が必要な場合、必ずしも必要でない場合の具体例は次のとおりとなります。

(1) 認証が必要となる公衆無線 LAN アクセスポイントの設置例

目視等で利用者の出入りを十分把握することが困難な場合



路上に設置された公衆無線 LAN アクセスポイント



ショッピング街等、野外で多くの利用者が利用する公衆無線 LAN アクセスポイント



野外イベント等、開かれた空間で多くの利用者が自由に出入りし、利用する公衆無線 LAN アクセスポイント

²⁹ http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/security/cmn/wi-fi/Wi-Fi_manual_for_AP.pdf

(2) 認証を必ずしも必要としない公衆無線 LAN アクセスポイントの設置例

目視等で利用者の出入りを十分把握できるような場合



レストランやカフェ等の店舗内に設置される公衆無線 LAN アクセスポイント



空港等が提供する公衆無線 LAN アクセスポイント



ホテル客室等で提供される公衆無線 LAN アクセスポイント

※ 上記は、目視、監視カメラや利用者の帳簿等から利用者の出入りを十分把握することが可能であり、認証を必ずしも必要としない公衆無線 LAN アクセスポイントの設置方法を例示したものです。上記の例の場合でも、サービス環境や利用者の状況に応じ、認証を行うことが適切な場合もあります。なお、意図したエリア内に限ってサービスが行われるように、電波の強度等については適切に調整することが必要になります。

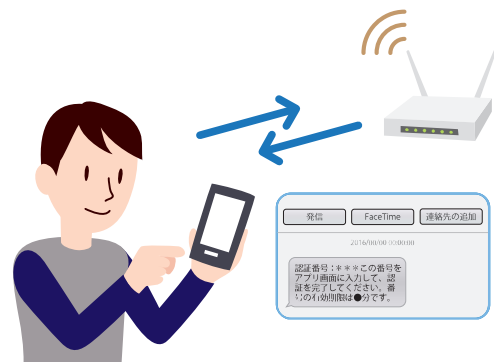
利用者情報の適切な確認

不特定かつ多数の者の利用を目的として提供される無料Wi-Fiサービスについては、サービスの円滑な提供や不正利用防止のため、①～③のいずれかの認証方式により、利用者情報を確認しましょう。

なお、空港や駅構内等の屋内施設や塀等により区切られた敷地内で提供される場合や、目視や監視カメラ等により、利用者の出入りを十分把握できるような場合は除きます。

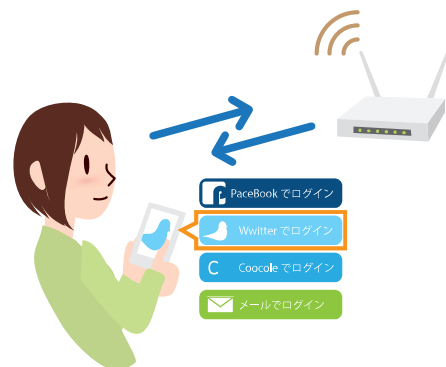
①SMS連携方式

- ・利用開始時に電話番号を入力
- ・システムから利用コードがSMSで発行され、利用コードを入力することで利用可能



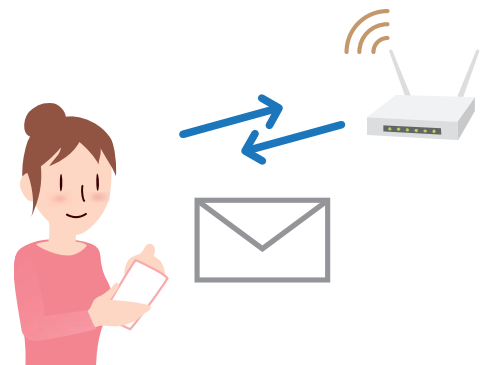
②SNSアカウントを利用した認証方式

- ・利用開始時に自身が利用しているSNSサービスにログインすることで利用可能



③利用していることの確認を含めたメール認証方式

- ・利用開始時にメールアドレスを登録
- ・登録したアドレスに返信される利用コードの入力や認証URL等で利用可能



②、③を選択可能にすることで利用者の利便性を確保することができます。

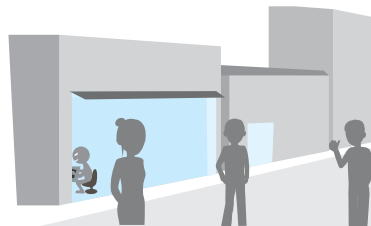
認証による利用者情報の確認が必要な場合／必ずしも必要でない場合の具体例は次のとおり。

認証が必要となるWi-Fiアクセスポイントの設置例

目視等で利用者の出入りを十分把握することが困難な場合



路上に設置されたアクセスポイント



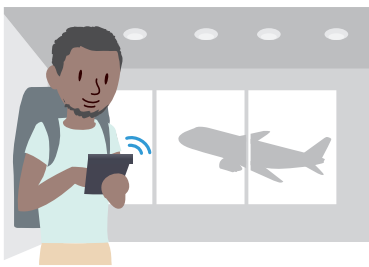
ショッピング街等、屋外で多くの利用者が利用するアクセスポイント



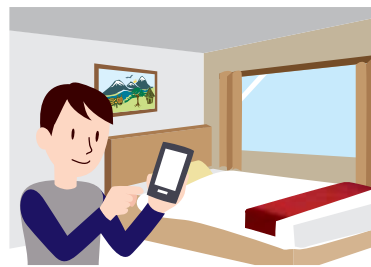
屋外イベント等、開かれた空間で多くの利用者が自由に入出し、利用するアクセスポイント

認証を必ずしも必要としないWi-Fiアクセスポイントの設置例

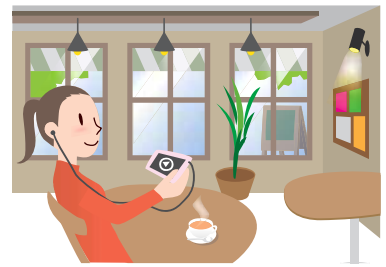
目視等で利用者の出入りを十分把握できるような場合



空港等が提供するアクセスポイント



ホテル客室等で提供されるアクセスポイント



レストランやカフェ等の店舗内に設置されるアクセスポイント

※上記は、目視、監視カメラや利用者の帳簿等から利用者の出入りを十分把握することが可能であり、認証を必ずしも必要としないWi-Fiアクセスポイントの設置方法を例示したものです。上記の例の場合でも、サービス環境や利用者の状況に応じ、認証を行うことが適切な場合もあります。

なお、意図したエリア内に限ってサービスが行われるように、電波の強度等については適切に調整する必要があります。